# 第6次エネルギー基本計画(案)の読み方

特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所

飯田哲也

2021年9月9日

## 第6次エネルギー基本計画(案)の読み方

- 1. <u>歴史的に評価されるポイント(中身がスカスカとはいえ・・)</u>
  - ・ 前回(第5次)は「再エネ主力電源化」
  - 今回(第6次)は「再エネ最優先原則と柔軟性」
- 2. 「書かれていない」が重要なポイント
  - 「原発新増設」が落とされたこと

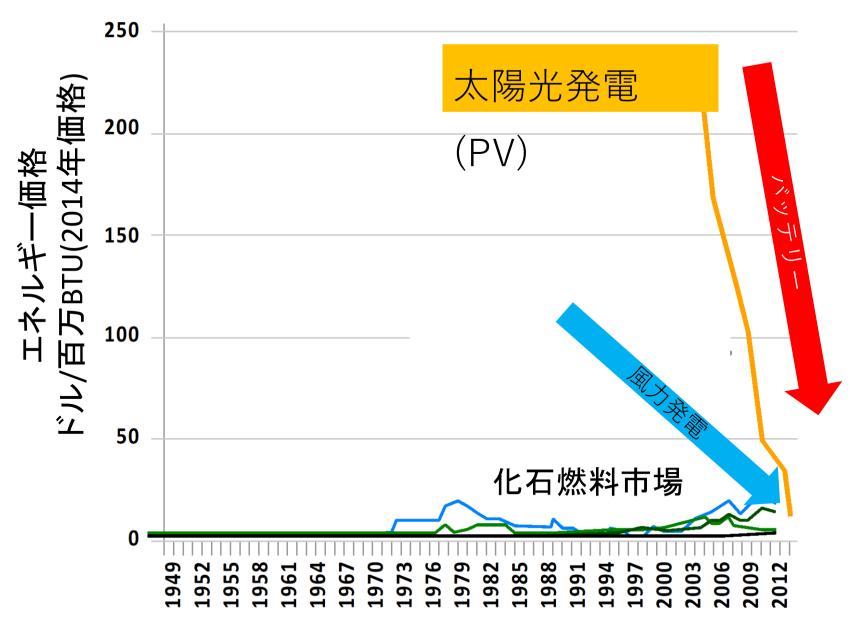
### 第6次エネルギー基本計画(案)の読み方(続き)

# 3. でもやっぱりダメなポイント

- I. 内容(コンテンツ)に関して
  - 世界史的なエネルギー大転換への意識がゼロ
    - ✓ ゲームチェンジャーとしての太陽光・風力・蓄電池があまりに低すぎる
    - ✓ 同じくゲームチェンジャーのEVや自動運転はほとんど記載なし
  - 相変わらず「温熱」への眼差しが皆無
  - 水素、CCUS、小型原発への病的な固執
  - ドサクサでお墨付き狙いの「容量市場」

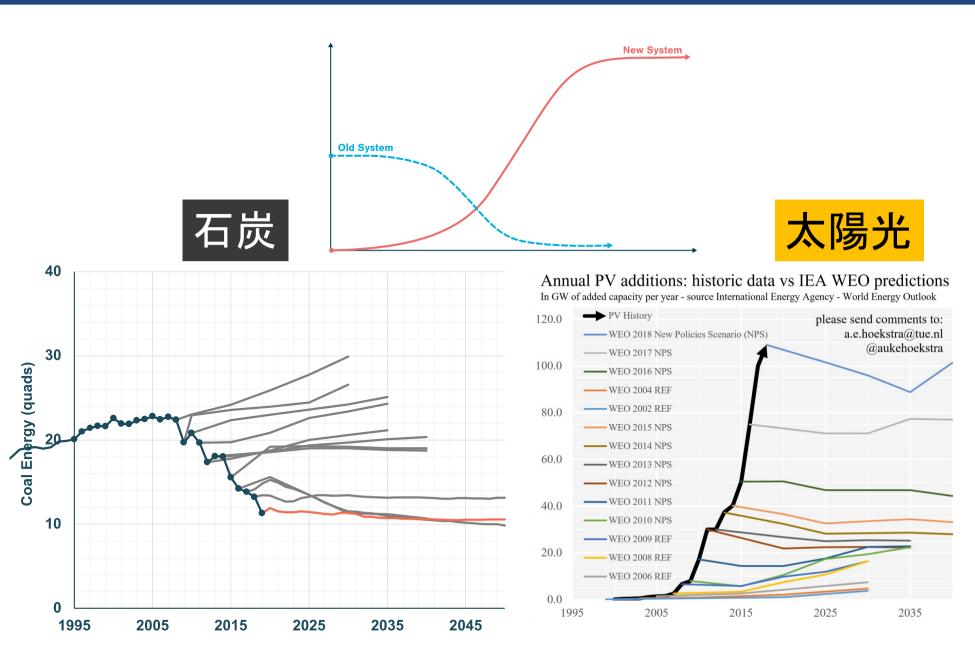
#### II. 別の角度から

- 「エネルギー基本計画」の名に値するのか
  - ✓ 「社会主義計画」のような、「談合文書」のような・・
  - ✓ 「政策文書」としての質とレベルが低すぎる
  - ✓ 国民参加と熟議プロセスの対極
- リアリティの問題を置き去りにして、数字と言葉だけが躍る
  - ✓ 崩壊しつつある太陽光市場、普及が進まない風力、蓄電池
  - ✓ 現実の普及障害や政策課題からの乖離
- そもそも、コメントしても責任ある応答(アカウンタブル)な政策主体なのか?

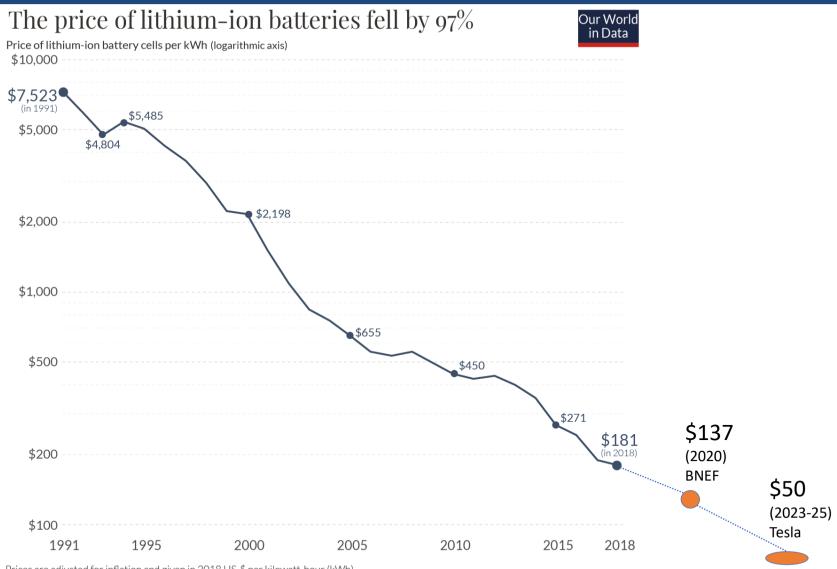


(出典)Michael W.Parker et.al., "Bernstein Energy & Power Blast: Equal and Opposite... If Solar Wins, Who Loses?", Bernstein Research April 4, 2014 (http://reneweconomy.com.au/wp-content/uploads/2014/04/Bernstein-solar.pdf) をベースに飯田加筆

# オズボーン効果



# 技術学習効果による継続的なコスト低下(リチウムイオン電池)



Prices are adjusted for inflation and given in 2018 US-\$ per kilowatt-hour (kWh).

Source: Micah Ziegler and Jessika Trancik (2021). Re-examining rates of lithium-ion battery technology improvement and cost decline.

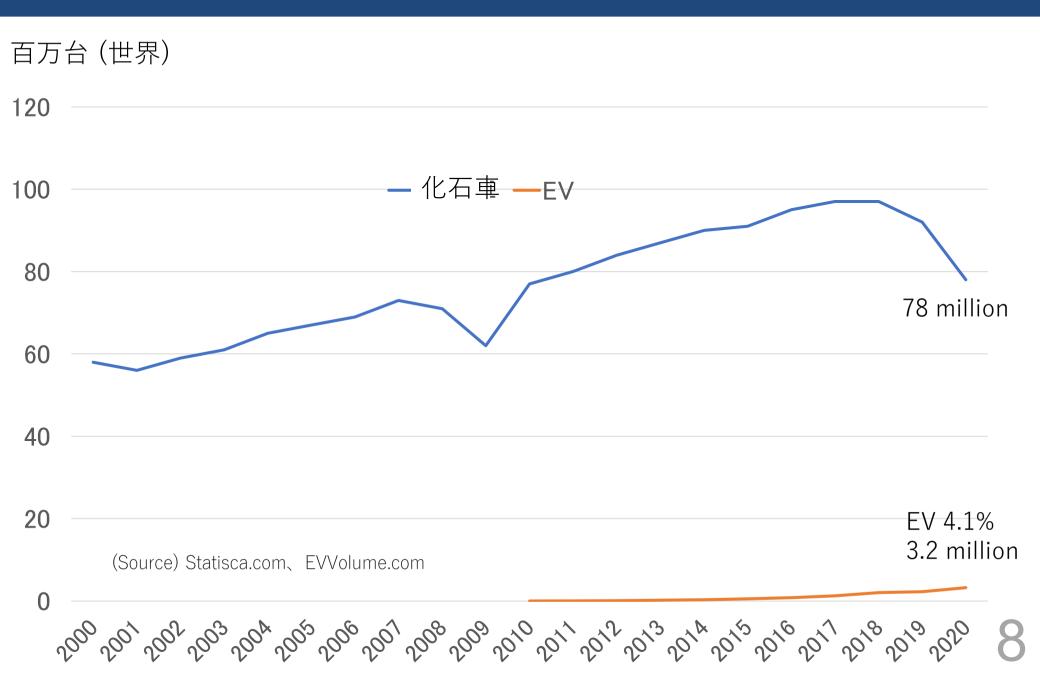
OurWorldinData.org – Research and data to make progress against the world's largest problems. Licensed under CC-BY by the author Hannah Ritchie.

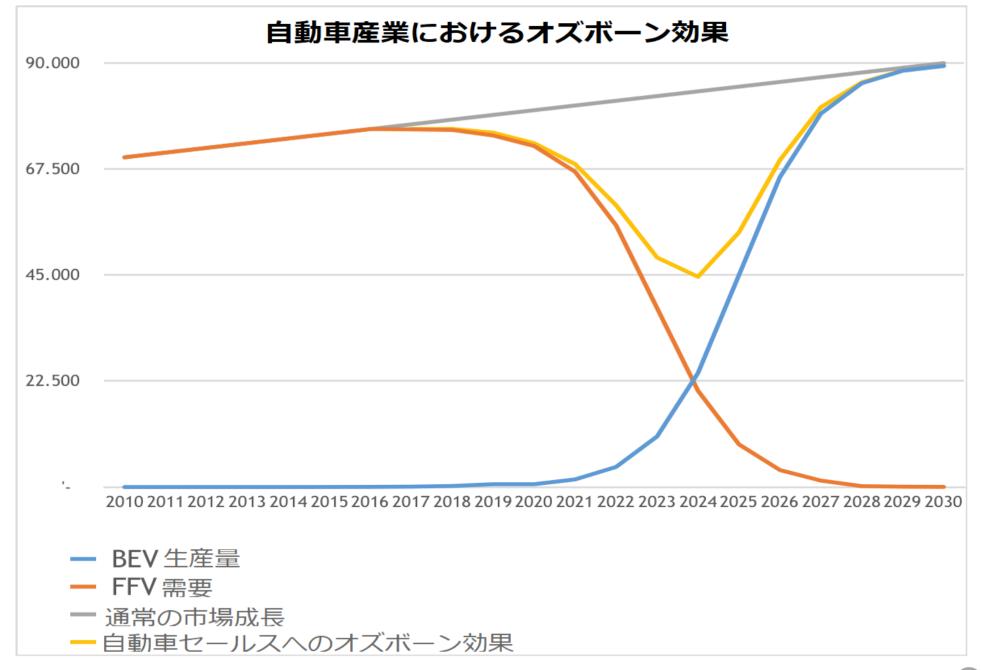
(出典) Hannah Ritchie "The price of batteries has declined by 97% in the last three decades" Our World in Data, June 04, 2021 https://ourworldindata.org/battery-price-decline (2021/7/10アクセス) に飯田加筆

# 急拡大するテスラの蓄電池&ソーラー事業

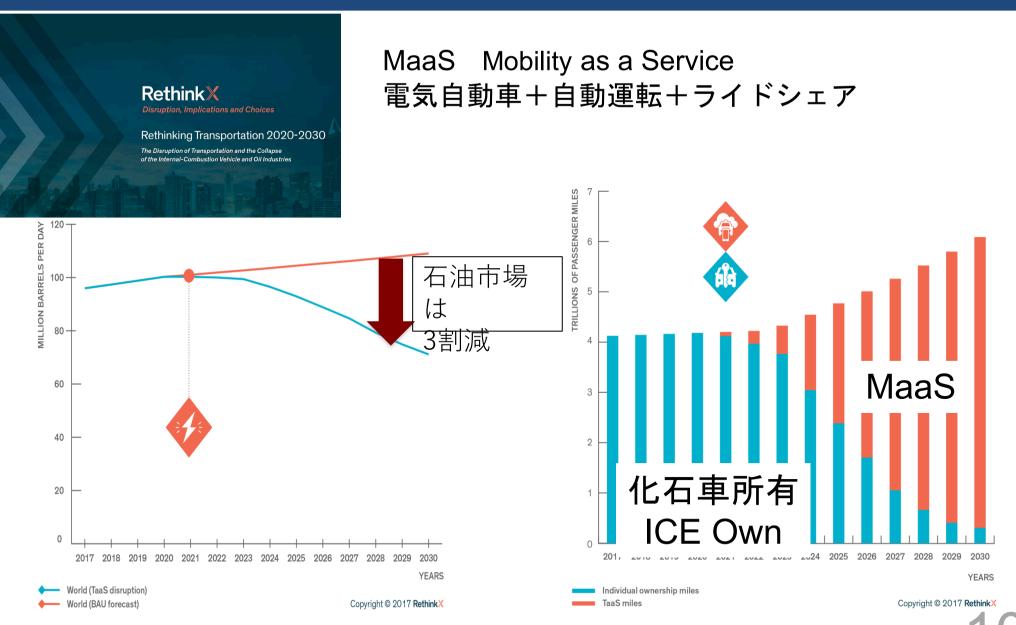


# 自動車の急激な変化が始まっている





# 自動車の急激な変化が始まっている



# 第6次エネルギー基本計画(案)の読み方(続き)

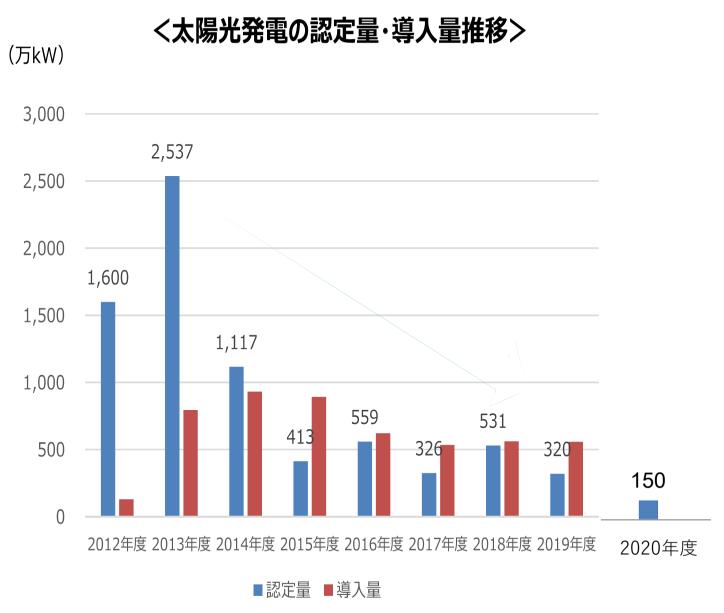
# 3. でもやっぱりダメなポイント

- I. 内容(コンテンツ)に関して
  - 世界史的なエネルギー大転換への意識がゼロ
    - ✓ ゲームチェンジャーとしての太陽光・風力・蓄電池があまりに低すぎる
    - ✓ 同じくゲームチェンジャーのEVや自動運転はほとんど記載なし
  - 相変わらず「温熱」への眼差しが皆無
  - 水素、CCUS、小型原発への病的な固執
  - ドサクサでお墨付き狙いの「容量市場」

#### II. 別の角度から

- 「エネルギー基本計画」の名に値するのか
  - ✓ 「社会主義計画」のような、「談合文書」のような・・
  - ✓ 「政策文書」としての質とレベルが低すぎる
  - ✓ 国民参加と熟議プロセスの対極
- リアリティの問題を置き去りにして、数字と言葉だけが躍る
  - ✓ 崩壊しつつある太陽光市場、普及が進まない風力、蓄電池
  - ✓ 現実の普及障害や政策課題からの乖離
- そもそも、コメントしても責任ある応答(アカウンタブル)な政策主体なのか?

## 日本の太陽光市場の大崩壊



【出典】経済産業省再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会(2021年4月7日)に飯田加筆